



はま なし

鶴岡市立西郷小学校 学校だより
令和元年度 第8号 (2019. 11. 27 発行)
～家庭・地域とともにある西郷小学校～



西郷っ子の学びの様子は？



西郷小から見える月山も鳥海山もその頂に真っ白な雪をかぶり、いよいよ師走を迎える季節となりました。朝登校してくる子どもたちも、防寒着に手袋をした姿が多くなり、厳しい季節の登下校となります。道も悪くなりますから、2学期残り1ヶ月間、安全に気をつけて元気に学校に通ってほしいと思っています。

11月中には、PTA環境整備、授業参観・PTA研修会、感謝のつどい等で何度となく学校へ足を運んでいただきありがとうございました。子供たちもおうちの方々から学校での様子を見てもらうことは、少しの恥ずかしさもありながらも、とても楽しみにしているようです。本校では、学習や行事に保護者や地域の方々よりお力添えをいただいていることが多くあり、その成果を子供たちの表情・姿から感じていただくよい機会と捉えています。

また、次年度からは「新学習指導要領」の内容が完全実施となります。これからの子どもたちに育てる資質や能力として下の3つの柱があげられています。こうした力を確実に身につけていくために、どのような内容を、どのように教えているのかを、今後とも是非ご覧いただき、話し合い、共有し合う機会を大切にしながら、家庭や地域との連携・協働をさらに深めていきたいと考えています。



今までのように、様々なことを知ったり、自分できるようになったりする勉強です。しっかりと身につけるためには、学習習慣をきちんと身につけることが益々大切になります。しかし、これだけでは子どもたちが未来社会を生きていくには不十分と考えられています。

- ◆何を知っているか、何ができるか
(個別の知識・技能)
- ◆知っていること・できることをどう使うか
(思考力・判断力・表現力等)
- ◆どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
(学びに向かう力、人間性等)

自分の夢や目標(未来)をしっかりと描くこと、それに前向きに向かっていく気持ちを、家庭・学校・地域で育て、自分から学ぶ子どもにしていきましょう。

↓ **これからは**

未来に出会う課題について、しっかりと考え、どう解決すべきかを判断でき、そのことを周りの人に理解を得られるように伝える力、協働できる力が、必ず必要になるといわれています。学校の授業でも、このような力を育成しようと“授業の改善”を行っています。

← **そのためには**

<ニュース>

現在、各教室へのエアコン設置工事中です。完成予定は来年の3月となっています。